



自転車競技の一丸尚伍選手とパラリンピック卓球競技の宿野部拓海選手を採用

社会福祉法人太陽の家（本部：別府市大字内竈、理事長：中村太郎）は、日本オリンピック委員会（JOC）が行っているトップアスリートの就職支援ナビゲーション「アスナビ」※を活用して、国際大会等での活躍が期待される、自転車競技の一丸尚伍（いちまる しょうご）選手とパラリンピック卓球競技の宿野部拓海（しゅくのべ たくみ）選手を4月1日より職員として採用することを決定しました。今後は大分を拠点に世界に挑戦する両選手の活動支援を行います。

<採用選手のプロフィールとコメント>

【宿野部拓海選手プロフィール】

1992年3月18日生まれ 23才、神奈川県出身

競技：卓球

2012年第3回国際クラス別障がい者卓球選手権大会

シングル：準優勝 ダブルス：優勝

2013年第13回国際障がい者スポーツ大会 優勝

第4回国際クラス別障がい者卓球選手権大会

シングル：優勝 ダブルス：優勝

【宿野部選手のコメント】

「障がい者スポーツに力を入れてきた太陽の家からパラリンピックを目指せることに感謝しています。このチャンスを最大限に活かし、不撓不屈のチャレンジ精神を忘れず自分の限界に挑戦し、卓球をとおして障害を乗り越える姿を見せていきたいと思います。」



【一丸尚伍選手プロフィール】

1992年1月4日生まれ 23才、福岡県北九州市出身（※日出陽谷高校卒業生）

競技：自転車競技・トラック中距離

2013年 アジア選手権 チームパシュート2位

2013年 全日本自転車競技選手権大会 スクラッチ1位

2014年 全日本自転車競技選手権大会 スクラッチ2位

仁川アジア競技大会 チームパシュート銅メダル

【一丸選手のコメント】

「高校時代の3年間を過ごした大分で、過ごしやすく競技に集中できる環境の中で、応援してくれる方のためにもしっかりと成績をだしていきたいです。地元の大分で練習することで、職場や地域の皆さんとの交流や、若手の育成などにも貢献していきたいと思います」



※「アスナビ」：競技を安心して続けられる環境を整えるため、企業からの支援・採用を望むトップアスリートと、採用を検討する企業側をマッチングさせる就職支援ナビゲーションです。

【社会福祉法人 太陽の家の紹介】

1965年10月中村裕(ゆたか)博士(故人)によって、別府市亀川に創設され、今年創立50年を迎える。"No Charity, but a Chance"を理念に、障がい者が働き生活する施設。県内は別府の本部の他に大分市・日出町・杵築市に障がい者、高齢者施設が、県外では愛知県蒲郡市と京都市にあり、障がい者1,200人、健常者600人の計1,800人が在籍する。オムロン、ソニー、ホンダ、三菱商事、デンソー、富士通エフサス等と共同出資会社8社をつくり、多くの重度障がい者を雇用している。

本件についてのお問い合わせ先

太陽の家 人事・広報課 TEL:0977-66-0277



挑戦！自分と未来に
2015年 創立50周年